

令和4年度 坂井市立鳴鹿小学校 スクールプラン



保護者の願い

- ・元気にあいさつができる子
- ・優しく思いやりのある子
- ・自分で考えて行動する子
- ・自然を大切にする子

教師の願い

- ・素直で思いやりのある子
- ・進んでがんばる子
- ・良さを認められる子

教育目標 心もからだも健康で、すすんで学ぶ、心豊かな児童を育てる

めざす児童像 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

—背筋を伸ばして、主体的に—

確かな学力の確立

〈重点目標〉

- ◎各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、主体的、対話的で深い学びを実現する授業に取り組む
- 自主的自発的な読書活動を充実させる

〈具体的な取組〉

- 「鳴鹿っ子授業の8つの約束」を確実に定着させ、基礎的基本的な学習内容を身に付けさせる
- 各教科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を鍛える指導に取り組む
- 自ら学習課題や学習活動を選択するなど、興味・関心を生かした自主的自発的な学習に取り組む
- ・知識を関連させ理解したり、情報を精査し考えたり、問題を見つけ解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学習に取り組む
- 情報手段を活用するための環境を整え、それらを適切に活用した学習活動に取り組む
- ユネスコスクールとして、ESDの視点ですべての教育活動に取り組む
- 総合的な学習の時間「まほろば学習」の中でSDGsの達成を目標に、自分にできることに誠実に取り組む態度を養う
- 学校図書館を計画的に利用し、自主的自発的な学習活動や読書活動を充実させ、家庭における読書を推進する
- ・読書環境を充実させ、読み聞かせ、おはなし会を定期開催する

〈数値目標〉

- ※「授業がわかる」児童 90%
- ※家庭学習の習慣化 90%
- ※8つの約束を守っている 85%
- ※読書が好きな児童 75%

豊かな人間性の育成

〈重点目標〉

- ◎質の高い多様な指導方法を確立し、考え議論する道徳授業を実践する
- よりよい生活をつくる話し合い活動を中心に特別活動に取り組む

〈具体的な取組〉

- 道徳科読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など、多様な指導方法に取り組む
- ・問題意識をもたせ、自分との関わりで考えさせる授業に取り組む
- ・多面的、多角的に捉え、自己の生き方を考えさせる授業に取り組む
- 思いやりのある子、礼儀正しい子を育成する
- ・いじめを根絶するために人権教育を推進し、自分を大切にするとともに、他の人も大切にすることを育てる。
- ・心を磨く清掃活動、無言清掃に取り組ませる
- ・挨拶、返事、丁寧な言葉遣いを定着させる
- 特別活動を通して自己肯定感を高め、信頼し合える、魅力ある学校づくりに取り組む
- ・安心して自分の考えを伝えることができ、間違いや失敗を支え合う学級づくりを目指す
- ・一人一人のちがいを認め、互いに信頼し合って生活することの大切さを体得させる
- ・認め、褒め、励ます指導を心掛ける

〈数値目標〉

- ※思いやりのある言動 85%
- ※無言清掃活動 90%
- ※自分の考えを伝える 85%
- ※挨拶、返事、言葉遣い 90%

健やかな体の育成

〈重点目標〉

- ◎疾病、傷害を防止し、健康で安全な生活の向上を目指す
- ◎運動やスポーツの多様な楽しさ、喜びを体感させる指導に取り組む

〈具体的な取組〉

- 疾病等リスクの軽減と生活の質の向上、健康を支える環境づくりに取り組む
- ・保健指導を充実させ感染症予防を徹底する
- ・食育を推進し健康な身体づくりに取り組む
- 運動が好きの子を育成し、体力づくりに取り組む
- ・パワーアップタイムを通して体力向上を図る
- 休み時間の遊びと運動を奨励する
- 規則正しい生活習慣を身に付けさせる
- ・「歯っぴー・ここからチェック」を活用し早寝早起きを習慣化させる
- ・自立心を育成する
- ・「スマートルール」を活用し、ネット、携帯、ゲーム機等の使い方を指導する
- ・目の使い過ぎに気を付け、休ませることを常に意識する習慣を身に付けさせる
- 防災や安全に対する意識を向上させる
- ・避難訓練や登下校の交通安全指導を徹底する

〈数値目標〉

- ※保健指導の充実 95%
- ※業間マラソンのめあて達成 80%
- ※早寝早起き習慣化 80%
- ※スマートルールを守れた 80%

家庭・地域との連携

〈重点目標〉

- ◎地域に誇りをもつ児童を育成する
- 家庭や地域と連携し地域人材を積極的に活用する
- 積極的な情報発信に取り組む

〈具体的な取組〉

- 地域で進める体験活動を推進する
- ・地域や学校に誇りをもつ児童を育成する
- ・地域人材や施設を積極的に活用する
- ・地域に出かけ、地域の方に接する活動に取り組む
- 学校・家庭・地域の連携を図る
- ・ノーメディアデー、スマートルールを着実に定着させ、実践を通して情報モラルを身に付けさせる
- ・学校生活ボランティアの協力を積極的に要請し連携を深める
- 幼小、小中連携教育に積極的に取り組む
- ・中学校区、鳴鹿幼児園と密接に連携する
- 積極的な情報発信に努める
- ・お便りとHPで定期的に情報を発信し、学校開放に取り組む
- 安心・安全な学校づくりに取り組む
- ・地域と協力し見守り活動を強化していく

〈数値目標〉

- ※地域、学校が好き 90%
- ※地域人材、施設の活用 90%
- ※ノーメディア、スマートルール効果 70%
- ※情報発信 90%

◎「一手少ない指導」を心掛け、背筋を伸ばして主体的に取り組む子を育てる◎

〈業務改善のための取組〉少ない指導で大きな成果を上げる・時間に対する意識・学校業務を組織で取り組む・休暇取得しやすい環境整備